

長崎外環状線（新戸町―柳田） について

問 南部地区の交通体系も進んできたが、長崎外環状線の未着工区間である新戸町から柳田間の現状について伺いたい。

答 長崎外環状線については、長期未着手都市計画道路として全区間において具体的な見直し作業に着手しており、今後、新戸町から柳田間を含め、県が計画の方向性を検討することになっていく。本市としては、小ヶ倉交差点などの混雑状況や南部地区の皆様のご意見を踏まえ、同区間の整備は必要と認識しており、今後とも長崎外環状線道路建設促進協議会とともに、早期着工に向け国や県に働きかけていきたい。

市民目線の行政改革について

問 国、県、市の行政機関で重複するような業務について、どのように簡素化・効率化していくのか。また、このことについて検討する場はあるか。

答 国、県、市の間で重複している事務窓口の一本化などの事務改善協議の場はないが、今後、地方分権の推進等

により、かなり解決してくるものと考えられる。地方分権の推進等の協議を目的として設置されている長崎県地方分権推進協議会において、市民の利便性向上、業務効率化等を念頭におき協議するとともに、場合によっては市長会等を通じた国への申し入れも必要ではないかと考える。

自由民主党

障害者就労支援の現状と課題について

問 厳しい雇用情勢の中、障害を持つた方の就職はさらに厳しいと言われている。本市においては、障害者の就労支援として平成20年度に就労支援相談所が開設されているが、これまでの実績と課題について伺いたい。



もりまちハートセンター

答 就労支援相談所で支援を受け、就労できた人数は、20年度で17人、21年度で28人、22年度は12月末現在で21人となっている。今後は、障害者雇用に関する助成支援制度の啓発用DVDを活用し、専任職員による事業所訪問などを行い、一人でも多くの障害者雇用につながるよう努めたい。

まちづくりの方向性と課題について

問 新幹線の整備計画について、諫早―長崎間はどういう規格で認可を受ける計画なのか。あわせて駅舎整備の着手時期について伺いたい。

答 現在、武雄温泉・諫早間の工事が進んでいるが、諫早・長崎間が認可されると、武雄温泉から長崎までは、フル規格の路線として整備されるものと考えている。本市としては、諫早・長崎間を含め、平成30年春に開業できるように国に要望している。駅舎の整備期間については、平成25年度から29年度頃と想定している。

公明党

市営住宅のカビ対策、ハト対策について

問 市営住宅におけるカビ、ダニの発生やハトのふんによる被害は、健康被害を引き起こす要因にもなっている。過去の対応と今後の取り組みについて伺いたい。

答 カビ対策は、カビの除去や防カビ剤の塗布、断熱性能を高める工事を平成8年度から約420戸で実施してきた。今後は、計画的に調査を行い、状況の把握に努めるとともに、新年度に実施する換気及び断熱対策工事の成果を踏まえ、順次対策を講じたい。ハト対策では、屋根にハトが嫌がる臭いの液体を塗布するなどの対策を講じているが、鳥獣保護等に関する法律の関係でその対策に苦慮しており、さらに効果的な対策の情報収集に努めたい。

